

平成28年産(27年播種) 麦類生育概況

長野県農業試験場 作物部

調査月日	項目	大麦:ファイバースノウ			小麦:シラネコムギ		
		平年	平成27(播) ~28年(産)	平年比	平年	平成27(播) ~28年(産)	平年比
出芽期 (12月1日)	出芽数 本/m ²	168	188	112	156	171	110
越冬前 (12月15日)	草丈 cm	9.7	12.8	131	14.4	16.8	116
	茎数 本/m ²	401	468	117	441	482	109
	葉数	3.7	5.5	+1.8	3.8	5.4	+1.6
越冬後 (3月3日)	草丈 cm	10.3	15.8	153	14.2	17.8	125
	茎数 本/m ²	691	1015	147	903	1245	138
	葉数	5.6	7.3	+1.7	6.2	7.5	+1.3
(3月18日)	草丈 cm	12.0	17.0	141	15.3	20.1	131
	茎数 本/m ²	1030	1204	117	1193	1324	111
	葉数	6.9	8.4	+1.5	7.0	8.5	+1.5
幼穂形成期		3月7日	3月3日	-4	3月21日	3月18日	-3
茎立期		3月25日	3月25日	±0	3月31日	3月23日	-8
出穂期		5月5日	4月26日	-9	5月11日	5月2日	-9
成熟期		6月11日	6月2日	-9	6月23日	6月10日	-13
成熟期	稈長 cm	94	98	104	85	92	108
	穂長 cm	5.1	5.1	100	8.3	9.2	111
	穂数 本/m ²	488	758	155	512	535	104
収量	子実重 kg/a	72.4	82.1	113	67.7	69.0	102
	容積重 g/l	718	674	94	809	788	97
	千粒重 g	39.0	34.9	89	40.9	43.3	106

※平年値は過去7年間に於ける最大値と最小値を除いた5カ年の平均値

<耕種概要>

栽培様式: 30cm条間ドリル播

播種期: 大麦 平成27年年10月25日、小麦10月26日 播種量: 7kg/10a

施肥量(N): 基肥 6kg/10a、茎立期追肥3kg/10a、3月16日 止葉展開期追肥2kg/10a、大麦4月18日、小麦4月26日

<生育概況>

越冬前 大小麦とも出芽は良好であった。11月から12月中旬まで高温傾向が続き、生育が進んだ。茎数は平年に比較して大麦で17%、小麦で9%多い。葉数も平年に比較して2葉近く多い。

越冬後 暖冬傾向で大小麦とも大幅に生育が進んだ。大麦はすでに幼穂形成期に入っている。
(3月3日現在)

(3月18日現在) 3月上~中旬も高温傾向で経過し、大小麦とも大幅に生育が進んでいる状態である。

幼穂形成 3月下旬は寒暖の差が大きかった。大麦の幼穂形成期は4日早く、茎立期はほぼ平年並となった。
~茎立期 小麦は幼穂形成期は3日早く、茎立期は8日早くなった。

出穂期 4月は高温傾向で経過し、生育が進んだ。出穂期は平年に比較して大小麦とも9日早くなった。

成熟期 出穂期以降も高温傾向が続き、大麦の成熟期は平年に比較して9日早くなった。小麦は13日早くなった。稈長はやや長く、穂長は小麦で長くなった。穂数は大麦で55%多く、小麦は4%多くなった。

収量 穂数が多かった大麦で収量は平年の113%、穂数がほぼ平年並みの小麦で収量は平年の102%であった。容積重は粒の充実不足から平年より21~44g軽くなった。大麦は穂数が多かった影響で粒は小さくなり、千粒重は平年より3.9g軽くなった。小麦は平年より2.4g重くなった。